

3 学校教育計画

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	鶴嶺高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

（1）学校のミッション

- 全日制の課程学年生普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 国際的な視野をもち、自主性と高い人権意識を備えたリーダーの育成をめざし、幅広く豊かな教養と、高いコミュニケーション能力を用いて社会的に自立し活躍するための資質・能力を育成する教育に取り組む。
- 広い視野をもち、多様な価値観を受容できるしなやかな人間力の育成のため、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

（2）学校教育目標

- 国際的な視野を持ち、自主性と高い人権意識を身に付けさせる。
- 豊かな教養と確かな学力を身に付け、高いコミュニケーション力を活用して社会的に自立し、社会で活躍することのできる資質・能力を育成する。
- 生徒が主体的に学ぶ意欲を高めるための授業改善に努め、希望する進路の実現を図る。
- 保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりを推進する。

（3）計画策定時点での課題

- 国際的視野を広めるとともに、生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を図るための授業の工夫・改善を図る必要がある。
- 行事・部活動を通して心身を鍛え、学習だけでなく、バランスのとれた人間力の育成や人間的成長を図る必要がある。
- 希望する進路実現ができるよう、生徒一人ひとりに向き合った相談体制を充実させる必要がある。
- 信頼される学校づくりのために、情報発信を十分に行うとともに、防災に係る体制の充実を図る必要がある。

(4) 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の興味・関心を高める教育課程の再編成を行い、探究的な学びを取り入れた授業の工夫・研究を活性化する。</p> <p>②グローバル教育を通じて、国際的視野を持ち、多様な価値観を受容できるしなやかな人間力の育成を図る。</p>	<p>①多様な考えを知ることで自分の考えをさらに深める授業の工夫をテーマとして、ICT機器の利活用を含め、学校全体で授業改善を推進していく。</p> <p>②各教科や「総合的な探究の時間」において、校内・国内で可能な自国の文化理解と国際的視野に基づく情報発信の機会を確保する。</p>
2	(幼児・児童) 生徒指導・支援	<p>①学校行事や部活動への主体的参加を通じた生徒同士の切磋琢磨により、コミュニケーション力や自己マネジメント力を養う。</p> <p>②命の大切さを深く理解させるとともに、人権への意識をさらに高める。</p>	<p>①各活動において、生徒を運営に参画させ、生徒自身が自主的に取り組むことができるよう、適切な支援を行う。</p> <p>②「ともに生きるかながわ憲章」を職員及び生徒に周知させ、生徒自身がどのような取り組みができるか、主体的に考えさせる。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒が主体的・能動的に自己の進路を考え、志を実現していく力を育成するため、進路指導の充実を図る。</p> <p>②様々な主体的な活動や体験的な活動を通して、働くことの意味や社会との関わりについて考える機会を提供する。</p>	<p>①高大接続改革に関する情報を引き続き整理する。ガイダンス、外部試験データの分析、面談等による指導を継続的に実施する。</p> <p>②学習活動コンソーシアムの活用や、生徒が主体的に体験活動を行えるよう、積極的に情報提供を行う。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域との協働を推進し、地域に根ざした信頼される学校づくりを図る。</p> <p>②地域との協働の機会を活用し、生徒の人間力の育成及び自己効力感の涵養につなげる。</p>	<p>①感染状況を見極めながら、地域と連携した行事等を生徒に向けて十分に周知し、参加機会を増やす。</p> <p>②地域貢献デーや文化祭等を通して、PTA、同窓会、小・中学校と連携し、生徒の成長につながる活動を行う。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①信頼される学校づくりのために学校運営組織の改善並びに活性化を図る。</p> <p>②事故・不祥事防止、円滑な学校業務運営、及び生徒の学習環境改善に努める。</p>	<p>①教職員の働き方改革を踏まえ、業務の効率化を図りながら、質の高い生徒対応、保護者対応を行う。</p> <p>②事故・不祥事を未然に防ぐため、ヒヤリハット事例について職員間で情報共有し、作業前の安全確認を徹底する。 耐震化工事について、職員間で情報を共有し、生徒の安全な学習環境の確保に努める。</p>